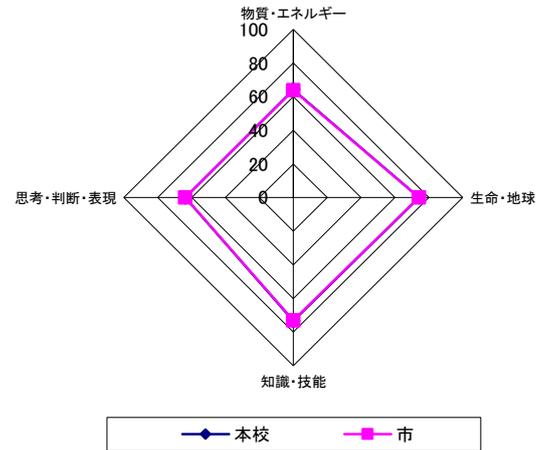


# 宇都宮市立桜小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	64.1	63.8	61.6
	生命・地球	74.2	74.1	73.3
観点別	知識・技能	73.3	73.0	71.3
	思考・判断・表現	63.8	63.8	62.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>○物のとけ方や物の燃え方の問題では、市の平均正答率より高い。</li> <li>○流れる水のはたらきの実験計画を記述式で答える問題では、市の平均正答率より高い。</li> <li>●流れる水のはたらきやふりこのきまりでは、実験結果を推測したり、実験の方法と結果から条件を推測したりする問題において市の平均正答率より低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1つだけ条件を変えて実験を行う計画を立てることや、結果から分かることは何か思考を深めることなどの指導に力を入れ、科学的思考力を高められるようにする。</li> <li>・引き続き、実験の構想を説明したり、結果から分かることを説明したりする指導を充実させ、自分の考えを筋道を立てて表現できる力を高めていきたい。</li> </ul>
生命・地球	<ul style="list-style-type: none"> <li>○動物のからだのつくりとはたらき、植物のつくりとはたらきにおいて、どの設問も市の平均正答率より高い。</li> <li>●浸食や食物連鎖など新出用語を問う問題での正答率が、市の平均正答率より低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本を定着させられるような指導方法を工夫し、継続していく。</li> <li>・自然の事物・現象から得た情報を、気付きの視点で分析して解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述する活動を積極的に取り入れる。</li> </ul>